

神戸市政調査会 第 11 回の議論について

議論のテーマ

「これからの時代の課題解決に取り組む」市民自治のあり方について

第 10 回の議論

公園を題材に、箒衆（ほうきしゅう）や神戸緑縁衆（りょくえんしゅう）、菜園プロジェクトなど、日常の来訪や遊びを地域との関わりにつなげる取組みが紹介された。地域活動への参加は、明確な社会貢献意識だけでなく、散歩、遊び、子育て、ラジオ体操など日常生活の延長からも生まれ得るとの見方が示された。特に、「行きたい」「ついで」「営みの見える化」が、新たな関わりを生む重要な視点として整理された。

第 11 回の議論のポイント

神戸市のスマートシティの取組みを手がかりに、日常の行動や善意を参加・相談・継続的な関わりへつなげる条件をどのように読み解くことができるか。また、市民の参加やつながりを広げるうえで、デジタル・バーチャルの限界点をどう見極めることができるか。